

C-CAP支援事例



- ・事業戦略や提案活動のブラッシュアップを実施し、アフリカと国内で有償実証実験先病院が決定
- ・プレシリーズAのリードVCが決定

企業名	株式会社spiker
代表者名	笠井綾子/杉本大輔
本社所在地	千葉市稲毛区弥生町2-5
創業年	2020年
従業員数	3名
HP	https://www.spiker.jp

事業概要

出産時に胎児心拍を観察する機械(CTG)のデータ判読AIの開発
アフリカ市場向け次世代型分娩監視用ソフト(アラートモニタ)の開発

周産期死亡の97.8%は途上国で発生しており、年間620万人の赤ちゃんが亡くなっています。先進国では当たり前のように活用されるCTGは、値段の高さに加え、判読に医学的知識と長い教育期間が必要なことから途上国ではなかなか浸透していません。中でもアフリカ大陸は深刻な状態です。私たちは、もしCTGで、データという名の「胎児の声」を聞くことができれば、適切なタイミングで適切なケアを施し、より多くの赤ちゃんの元気な産声を聞くことができると考えています。「テクノロジーを活用し、医療従事者の医学的根拠に基づいた診断をサポートする」このソリューションを広めることで、命にまつわる課題解決に貢献していきます。

開始時の目標

データ判読AIを開発しつつ、アフリカと日本での実証実験と販路開拓の仮説検証、資金調達を実施している段階。

①資金調達(エクイティ・デット)

来年度中に資金調達への実績作りと投資家との連携を進める

②実証実験戦略のブラッシュアップ

国内での提携先を探す。特に次回ラウンド資金調達において、千葉市内での有償PoC実績が評価を高めるキーとなる

期間中の支援内容

①資金調達サポート

VC(ベンチャーキャピタル)/CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)7社、金融機関2社を紹介。

②実証実験戦略の改良と活動の支援

- ・海外/国内の実証実験活動の方針整理
- ・デモデイに千葉大学医局関係者を招待(今後の活動連携の布石)

③事業戦略のブラッシュアップ

海外/国内の事業モデルについて一緒に改良

④事業推進に資するネットワークの提供

大学やJETRO、類似事業展開のスタートアップ役員など4名を紹介

期間中の成果

①資金調達

・プレシリーズAラウンドについてメインとなるベンチャーキャピタルが決定。調達目標額に向けて追加アクション中

②【海外】実証実験を実施しながら法人向け導入を推進

・ケニアの病院2先(公立1件、私立1件)とで実証実験が決まり開始

③【国内】法人向け、個人向け販路拡大

・千葉市の病院1先(私立ファミリー産院ちば、市川)で実証実験が決まり開始

・個人向けポータブル機も実証実験2件実施

④許認可等

・ルワンダ食品医薬品局より1年間の治験実施許可

・千葉県より「医療機器製造販売業」の許可

代表取締役 笠井さん・杉本さんからのコメント

・個別メンタリングについて:個別具体的に会社の抱える課題についてインタビューいただき、課題に沿った解決策を提案するだけでなく、人の紹介など具体的に動いてくださったところがとても助かりました!

・課題解決講座について:成長に必要なテーマを聞けたため満足

・全体の感想:アクセラで得られる信頼というものが存在することを学びました。金融機関との交渉やVCに声をかけたときにHPに実績として書けるので、弊社のように売上を最初立てられない会社にとっては信頼を獲得する1手段だということを学びました。



令和5年3月作成